

Tokushima University
Institute of Liberal Arts and Sciences



Courses offered by Institute of Liberal Arts and Sciences and chosen by former foreign students. Those are basically conducted in Japanese language. Some courses are accessible in English.

Academic school year

Spring-Summer Semester: Early April to the end of July

Fall-Winter Semester: Oct. 1 to Mid-February.

Timetable

1~2 (8 : 40~10 : 10) / 3~4 (10 : 25~11 : 55)

5~6 (12 : 50~14 : 20) / 7~8 (14 : 35~16 : 05)

9~10 (16 : 20~17 : 50)

Japanese Language Requirements

JLPT (Japanese Language Proficiency Test) Level 3 (N3) or higher is desirable.

*** Courses will be chosen by lottery when the capacity excess.**

* Syllabuses may be subjected to change.

* Class room may be subjected to change.

～First Semester (Spring)～

Title	異文化交流から学ぶグローバル化 Active learning for globalization by cross-cultural communications		
Code / Day, Time	10705 / Wed. 3～4	Room	6号館 201
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Takahito Saito
Aim	<p>現代の社会では、異なる文化的背景や異なる価値観を持った人たちと共に持続可能な社会を作り上げていくことが求められている。この授業の中で留学生との交流活動を通して、その後の大学生活さらには社会に出てからの異文化理解の出発点となる学習を行う。</p> <p>留学生との対話、グループワークなどを通じて、違う価値観に触れ、異文化を意識し、他文化を知り、自文化を深く考える、などの学習活動により、異文化を持つ人とのコミュニケーション力を身につける。</p>		
Class description	<p>学生間のコミュニケーションを繰り返し体験することから、他者とのかわりを学ぶ。授業の題材としては、日本の文化や徳島県内の歴史、伝統文化・産業を扱う。その題材を通して異文化理解、国際交流をどのように進めていったらよいかを考えていく。授業において単に知識を一方向的に聞くのみでは、授業の目的である異文化理解ができるようになるわけではない。学修の際の疑問点を質問する、あるいは他の学生の疑問に対して答えを出してみるなどによる積極的な参加により目的が達成される。この授業では、そうした双方向的なやりとりを行う。</p>		

Title	Culture and Society in Japan		
Code / Day, Time	90701/ Intensive course		
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Hiroshi Sakata
Aim	<p>This is a 2-week intensive program developed for the international students participating in the Summer Program in 2024. The main objectives of this course are (1) to provide the international students with fundamental knowledge and information about Japanese society and culture and (2) offer chances to learn about Japan through the direct interaction with Japanese people.</p>		
Class description	<p>This course covers a wide range of topics concerning the historical, geographical, social and political aspects of Japan. Students learn about the topics through hands-on experiences and through the interaction with Japanese students.</p>		

Title	異文化 / 自文化研究へのいざない Introduction to Japanese and Foreign Cultures		
Code / Day, Time	10701 / Mon. 1~2	Room	4号館 401
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Shinichi Takahashi
Aim	<p>「地球時代」を迎えた今日、われわれの生きている社会、およびそこに見られる文化は日々大きく変化し、ますます複雑なものになってきている。文化人類学の大きな課題の一つは、このような社会・文化の複雑な網の目を解きほぐし、その奥にある社会・文化の本質を洞察することにある。本講義は、異文化および自文化の本質を客観的に捉える視点を身に付けることを通じて、同じ地球に生きる他者（および自己）の理解に寄与することを目的とする。受講生は、客観的な他者/自己理解の視点を獲得することにより、グローバル化が進む現代社会における地域課題を深く理解、考察し、持続可能な社会・共生社会のあり方を主体的に考える視点を身に付けることができる。</p>		
Class description	<p>グローバル化が進む中、異文化（他者）理解の重要性はさらに増している。また同時に、異文化を理解する前提として、自分の文化について理解を深めることも必要不可欠である。本講義では、文化人類学の視点から、今、われわれの目の前にある現代文化の意味を読み解く技法、言い換えれば「異文化／自文化の見方」を紹介する。衣食住、年中行事、死生観、観光現象、海外での日本文化ブームなど身近なトピックを取り上げながら、現代社会における文化のダイナミズム、柔軟性について考えてもらう。授業は基本的に講義形式をとるが、毎回の授業の最後に学生にコメント・質問等を書いてもらい、次回の授業の冒頭で教員がそれに回答することで、双方向的なコミュニケーションを実現するとともに、授業内容の理解を深める。</p>		

Title	世界の中の日本語 / Japanese in the world		
Code / Day, Time	20706 / Thu. 3~4	Room	4号館 201
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Keiichi Murakami
Aim	<p>現代の日本語社会に関わる課題のひとつに、多言語・多文化共生社会の実現がある。日本人が、異言語・異文化の人々と相互に理解し尊重し合って生きていくことは、これからの時代を生きていくために必要な心得である。この授業では「日本語教育」の現状を通じて、言語と文化、生活習慣や価値観の多様性について学ぶ。世界の一言語としての「日本語」についても、客観的な理解を深める場としたい。</p>		
Class description	<p>日本語を母語としない人々に対する「日本語教育」について、異文化間コミュニケーションと多文化共生の観点から概観する。国内外の日本語教育が、身近にある問題からグローバル化した社会問題まで多面的に関わっていることを理解し、世界から日本を学ぶ。ひとつの言語としての日本語の基本的構造について、いくつかの事例を通じて学び、その客観的な理解を深める。</p>		

Title	異文化交流プロジェクトワーク (1) Cross-cultural Exchange and Project Work (1)		
Code / Day, Time	90702 / Wed. 9~10	Room	多言語交流コモンラウンジ
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Hiroshi Sakata, Others
Aim	I この授業では、日本文化に対する理解を高め、異文化との違いや共通点を知ることが目的に活動を行います。具体的には、①2025 年度夏期にマレーシアマラッカ技術大学 (UTeM) で実施を予定している「日本・徳島文化紹介ワークショップ」の準備をとおして日本文化に対する理解を深め、②現地大学生 (または本学留学生) との直接的な交流を通して異文化との共通点と違いを体験することを目的として授業を展開する予定です。		
Class description	この授業では、主に 2025 年度夏期にマレーシアマラッカ技術大学 (UTeM) で実施を予定している「日本・徳島文化紹介ワークショップ」の準備を行います。内容としては、例えば「阿波踊り体験」や「折り紙体験」、「習字体験」などの日本の伝統文化に関するテーマをピックアップし、グループ単位でワークショップを実施するための準備を行います。これらの準備を通して日本・徳島文化についての理解を深め、日本人として国際的に対応できる素地を作りたいと考えています。具体的な授業の予定は下記のとおりです。 1 週目：オリエンテーション、授業目標・概要の説明 2 週目：UTeM、マレーシアについての解説 3 週目：グループ分け、ワークショップテーマ決め 4 週目：ワークショップ準備 (1) 5 週目：ワークショップ準備 (2) 6 週目：ワークショップ準備 (3) 7 週目：ワークショップ準備 (4) 8 週目：中間発表 9 週目：ワークショップ準備 (5) 10 週目：ワークショップ準備 (6) 11 週目：ワークショップ準備 (7) 12 週目：ワークショップ準備 (8) 13 週目：ワークショップ準備 (9) 14 週目：ワークショップ準備成果の共有 15 週目：最終レポート作成・提出 16 週目：授業の振り返り		

Title	日本の古代史 / Ancient Japanese History		
Code / Day, Time	10101 / Mon. 1~2	Room	5 号館 201
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Hitoshi Kinugawa
Aim	日本古代の通史的な概説を通して、日本の歴史と文化に対する理解を深めること、さらにその中から歴史的に考える力を身につけることを到達目標とする。		
Class description	古代における日本の歴史を通史的に概説する。6 世紀から 11 世紀頃までを対象として、歴史叙述の典拠となる諸史料 (公武権力や寺社勢力、民衆に関する古文書・古記録など) をもとに、史実を抽出して評価するという歴史的な考え方の基礎を習得する。		

Title	和歌から俳諧, 俳諧から俳句へ / Waka, Haikai and Haiku		
Code / Day, Time	10104 / Wed. 3~4	Room	4号館 204
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Kazuhiro Tsutsumi
Aim	これからの国際社会を生きていく中で、種々多様な日本文化に対する深い造詣は、色々な面において有意義かつ必要なものとなり、また、人生を豊かなものにする。そこで、日本文化の中でも特徴的といわれる俳句を取り上げ、時代の変遷の中で俳句が生まれてきた過程・背景を理解することを通して、日本文化理解の方法を会得することを目的とする。以上の理解を踏まえた上で、自作・他作の俳句に対する鑑賞文を書くことで、文章力を養うことも目的とする。		
Class description	日本の歴史が古代から中世・近世・近代へと歩を進めていく中で、和歌は途切れることなく詠み続けられた。しかし詠まれる和歌の特徴は時代の変遷と共に当然変化していった。一方、和歌から連歌が派生し、連歌から連句・俳諧が生まれ、近代になって俳句が完成する。これらの流れも時代変遷と不可分である。時代変遷と共に和歌から俳諧へ、俳諧から俳句へと流れていった文学史を跡づける。そして俳句の創作と自作・他作の俳句の鑑賞文にも挑戦する。季語が入っていて五七五になってさえすれば俳句になるなどという浅薄な理解によって創られるのではない俳句の魅力を他人にも説明するのである。		

Title	心理学初歩 / elementary psychology		
Code / Day, Time	10207 / Tue. 1~2	Room	4号館 301
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Tetsuya Yamamoto
Aim	心理学を学ぶことは、豊かな人間理解と、幅広い視野・観点の習得につながり、よりよく生きるうえで極めて有用であるといえる。本講義では、学際性に富む心理学領域の知見に触れることで、多様な観点に基づく問題解決・社会貢献のための基礎力を涵養する。また、自他の「心」について、科学的立場から理解を深めることで、高い倫理性と自律性を身につける。		
Class description	本講義では、認知心理学や学習心理学をはじめとした基礎心理学と、犯罪心理学や発達心理学といった応用的側面を有する心理学を総合的に学び、心理学領域全般にわたる代表的な知見を概観する。		

Title	心理学概説 / Survey of Psychology		
Code / Day, Time	10201 / Mon. 3~4	Room	5号館 201
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Kenji Satoh
Aim	T 現代社会を生きていく上で、自らの心の働き、他者の心の働きを理解することは重要である。そこで、本講義では、心の働きに関する学問である心理学の基本的な知識を学習する。		
Class description	心理学の重要分野における発想、研究結果を概説する。特に、大学生において関心の高い「こころの問題」に関連させながら、心理学の重要分野における研究結果を概説する。		

Title	国際協力論－入門編 / International Cooperation Studies		
Code / Day, Time	10703 / Mon. 9～10	Room	4号館 305
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Kazuhiko Aiba
Aim	<p>世界には貧困や紛争で苦悩する人々が依然、多くいます。どのような実態があり、どのような支援が必要なのでしょうか。他方、なぜ日本人でなく外国人を助けるのか、偽善でないのか、という指摘もあります。そして日本と近隣諸国の関係を見れば、とくに中国や韓国・北朝鮮と日本の間は、「協力・友好」というより、「反目・不信」の状況もあります。どうすればもっと良い関係になれるのでしょうか。この授業では、国際協力が求められる現場の実態や支援のしかた、信頼できる協力関係の構築について知見を得ると同時に、公共的なマインドと他者共感性、幅広い国際的な視野の育成を目指します。</p>		
Class description	<p>この授業では担当教員（饗場）が国際協力に関する理論的、実践的な概念・原則を説明する他、国際協力の第一線の現場からエキスパートを招き、リアルな体験談を聞きます。また、映画やテレビ番組などの動画を多く活用します。随時、受講生同士の意見交換も促します。各自、授業後、manabaに振り返りや質問などを記し、理解を深めます。</p>		

Title	心理学概論 / Outline of Psychology		
Code / Day, Time	10213 / Thu.5～6	Room	4号館 201
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Takaki Fukumori
Aim	<p>人間は、感じる・覚える・学ぶ・思う・悩む、など毎日「こころ」を動かしている。人間が社会の中で生活する上で、「こころ」は欠かすことのできないものであると言える。心理学とは、このような、人間にとって非常に身近な対象に関する学問である。しかし一方、身近であるが故にその理解は困難であり、マスコミからの表層的な情報の影響もあって、心理学の内容が歪めて受け取られていることもまた事実である。本講では、心理学の各領域における主要な理論・概念を理解することによって、自他や社会に対する幅広い視野を獲得し、俯瞰的に物事を捉える力を身につけること、また、科学としての心理学の基礎的な知識や考え方を獲得することを通じて、自律して社会の諸問題に立ち向かうための学問的基盤を形成することを目的とする。</p>		
Class description	<p>様々な心理学の研究領域のうち、「知覚」「学習」「発達」「記憶」「パーソナリティ」などの代表的な領域を取り上げ、それぞれの領域で提唱されている理論や概念について概説する。またその際、心理学に関する様々な研究法や研究結果についても紹介する。</p>		

～Second Semester (Fall)～

Title	異文化交流プロジェクトワーク (2) Cross-cultural Exchange and Project Work (2)		
Code	20707 / Thu. 5～6	Room	4号館 302
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Hiroshi Sakata,
Aim	本授業は、本学留学生との交流を受講生自らが「交流プロジェクト」として計画・立案し、実践することで、受講生の海外通用性と実践的な外国語力を高めていくことを目的とする。		
Class description	<p>本授業では、日本人学生が留学生とグループを組み、「徳島を知る」というテーマの下、共同でプロジェクトを立案・実施する。昨年度のテーマとしては、「食について」、「徳島イオンモールについて」、「戎まつりについて」を取り扱った。具体的なテーマについては、最初のオリエンテーション時に決めていくように考えている。具体的な日程案については、以下に示す通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Project Work (1): Group Making & Discussion on the 1st Topic 3. Project Work (1): Research Week 4. Project Work (1): Research Week 5. Project Work (1): Class Presentation 6. Project Work (2): Group Making & Discussion on the 2nd Topic 7. Project Work (2): Research Week 8. Project Work (2): Research Week 9. Project Work (2): Class Presentation 10. Project Work (3): Group Making & Discussion on the 3rd Topic 11. Project Work (3): Research Week 12. Project Work (3): Research Week 13. Project Work (3): Class Presentation 14. Reflection (1) 15. Reflection (2) 		

Title	異文化交流体験から何を学ぶのか / What should we learn in the exchange program with foreign countries		
Code	20702 / Wed. 3~4	Room	多言語交流コモンラウンジ
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Takahito Saito
Aim	<p>現代の社会では、異なる文化的背景や異なる価値観を持った人たちと共に持続可能な社会を作り上げていくことが求められている。この授業の中で留学生との交流活動を通して、その後の大学生活さらには社会に出てからの異文化理解の出発点となる学習を行う。</p> <p>留学生との対話、グループワークなどを通じて、違う価値観に触れ、異文化を意識し、他文化を知り、自文化を深く考える、などの学習活動により、異文化を持つ人とのコミュニケーション力を身につける。</p>		
Class description	<p>学生間のコミュニケーションを繰り返し体験することから、他者とのかわりを学ぶ。</p> <p>授業の題材としては、日本の文化や徳島県内の歴史、伝統文化・産業を扱う。その題材を通して異文化理解、国際交流をどのように進めていったらよいかを考えていく。</p> <p>授業において単に知識を一方向的に聞くだけのみでは、授業の目的である異文化理解ができるようになるわけではない。学修の際の疑問点を質問する、あるいは他の学生の疑問に対して答えを出してみるなどによる積極的な参加により目的が達成される。この授業では、そうした双方向的なやりとりを行う。</p>		

Title	古代・中世日本の社会 / Ancient and Medieval Japanese History		
Code / Day, Time	20101 / Mon. 1~2	Room	6号館 203
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Hitoshi Kinugawa
Aim	<p>日本の古代・中世史を素材として、歴史的に考える力を養う。また、そこから歴史的特質を読み取る力を身につけ、さらには歴史と文化に対する理解を深めることを到達目標とする。</p>		
Class description	<p>古代から中世にかけての日本史に関する諸問題を取り上げ、史料に基づいて解説する。その際には公家・武家・寺家などの諸権力の動向に加え、民衆の問題や対外関係、宗教と文化など、様々な視角から考察できるように、テーマには幅を持たせて解説する。</p>		